

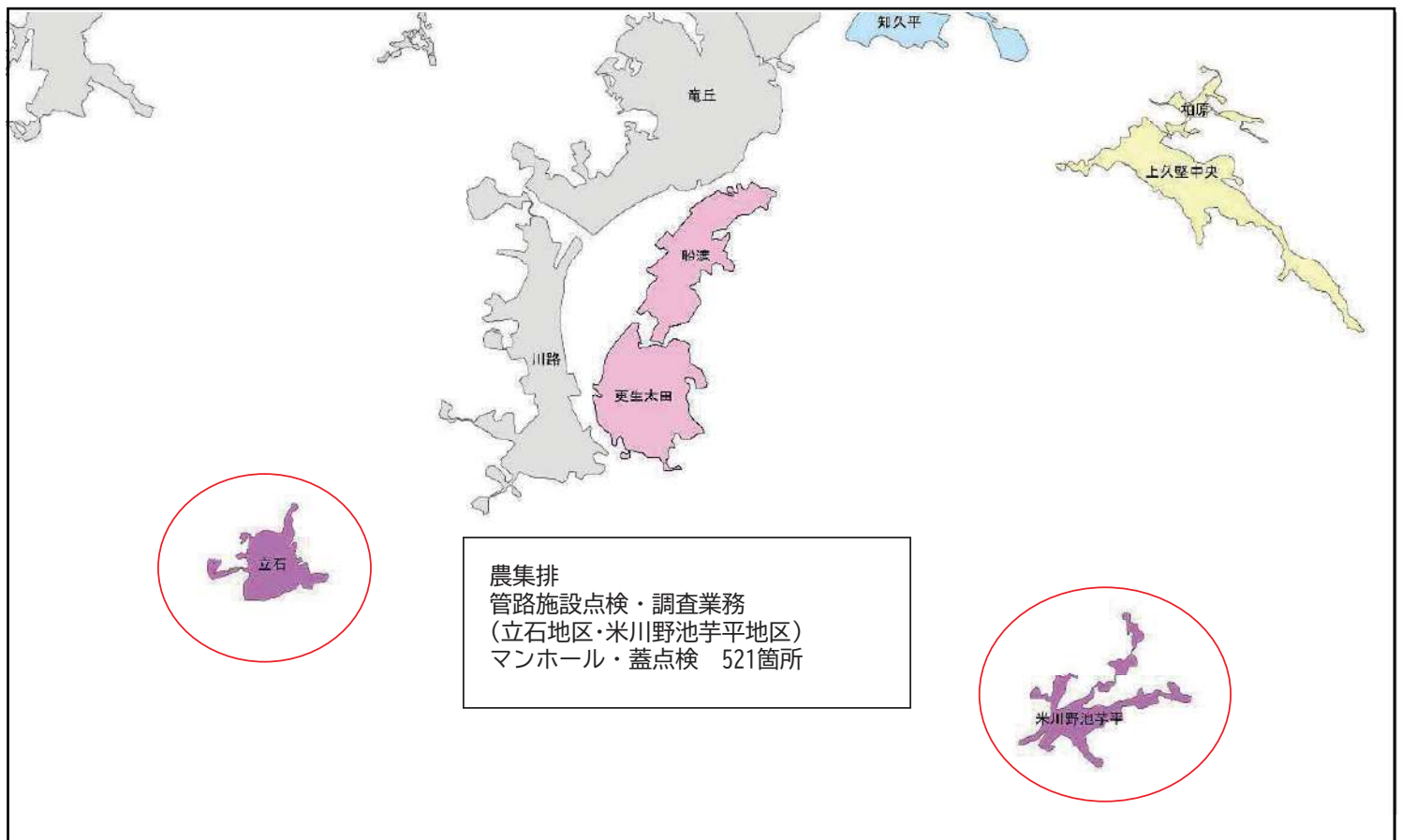
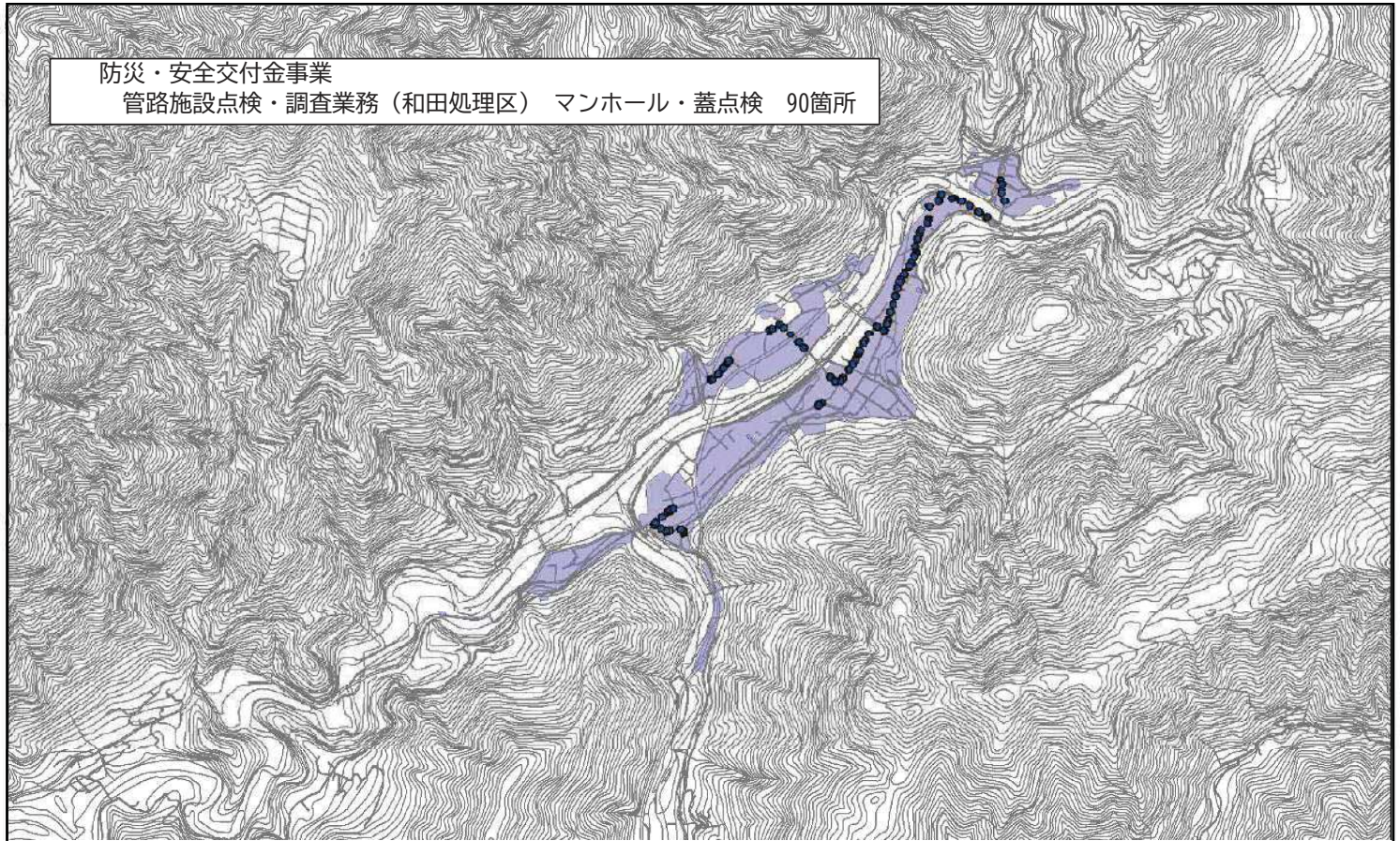
令和7年度当初予算(下水道事業)

重点事業項目一覧表

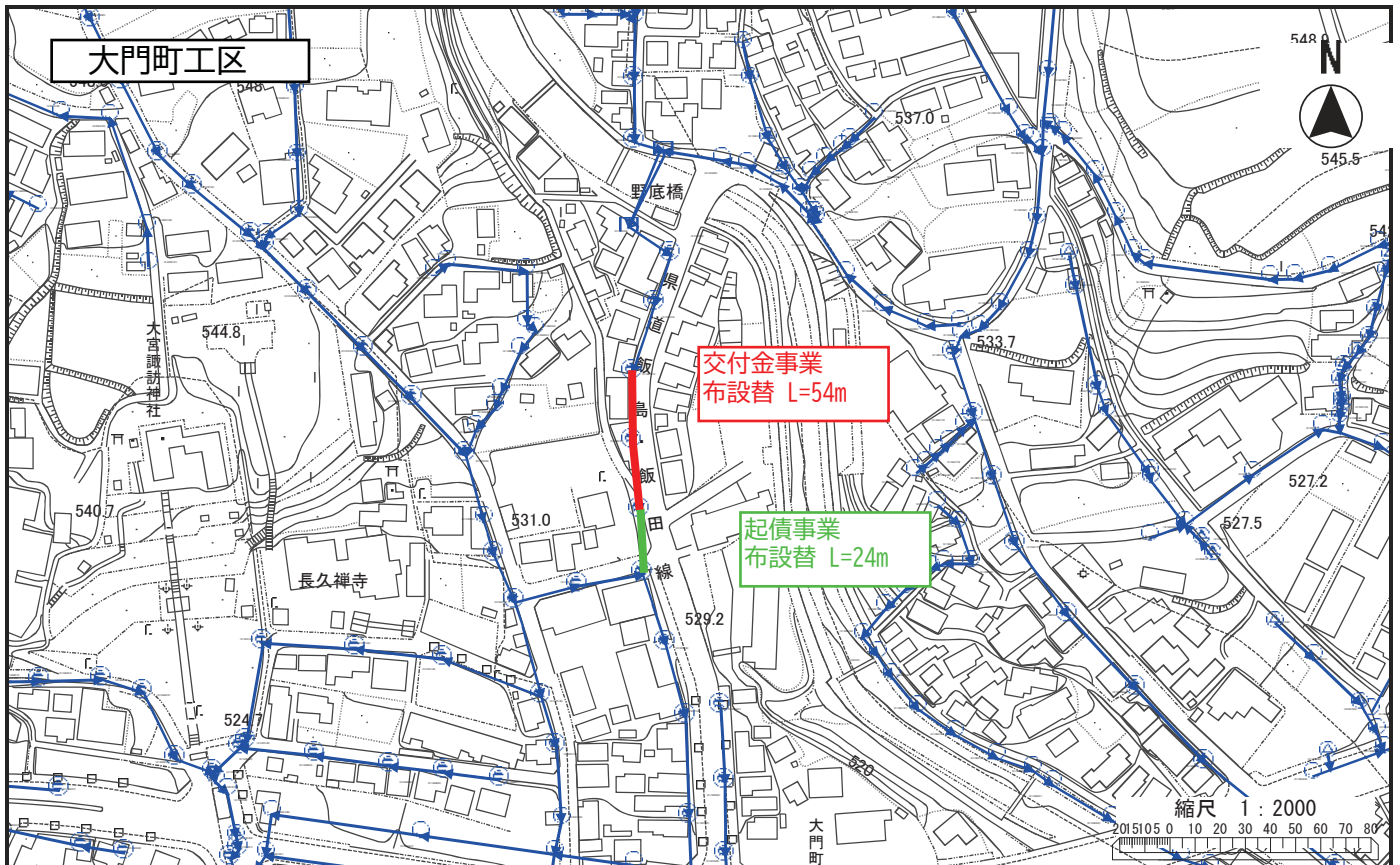
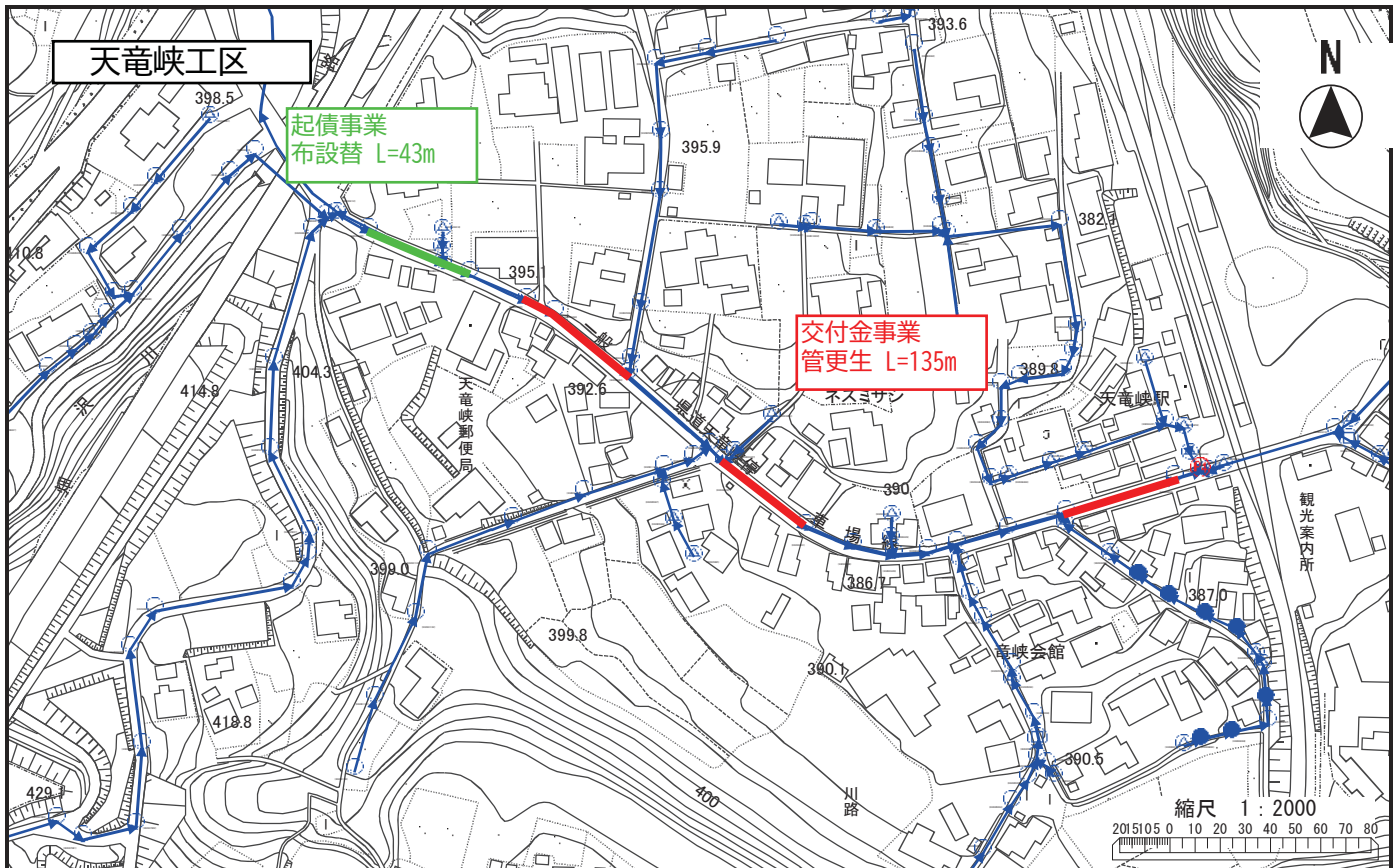
(国): 国庫補助事業または交付金事業

事業名	事業費 (千円)	事業内容
①管路施設ストックマネジメント事業 (資料5-2 P2～5)	72,535	【継続】 ・点検・調査 マンホール・蓋611箇所 13,288千円 一部(国) ・管更生工事 L=135m 布設替工事 L=121m 43,913千円 (国) ・第2期ストックマネジメント計画策定業務委託 15,334千円 (国)
②地震対策事業(管きよ) (資料5-2 P6)	64,658	【継続】 ・人孔管口耐震化工事 63口 64,658千円 (国)
③処理区統廃合事業 (資料5-2 P7)	180,000	【継続】 ・農集下殿岡地区・特環竜丘地区管渠整備工事 180,000千円 (国)
④官民連携事業	13,651	【継続】 ・飯田市下水道処理施設包括的委託業務に係る事業者選定支援業務(ウォーターPPP) (国) 13,651千円(令和7・8年度債務負担)
⑤他事業関連管渠布設・布設替事業	269,500	【継続】 ・リニア関連 5路線 ・市関連 5路線 ・県関連 2路線 ・人孔補修等
⑥処理施設ストックマネジメント事業 (資料5-2 P8～10)	93,700	【継続】 ・工事 松尾浄化管理センター水処理監視制御設備更新工事、汚水ポンプVVFV盤更新工事 (国) 79,200千円(令和7～9年度債務負担) ・第2期ストックマネジメント計画策定業務委託 14,500千円 (国)
⑦松尾浄化管理センター再構築事業 (資料5-2 P11)	31,625	【新規】 ・松尾浄化管理センター再構築計画策定業務委託 31,625千円

点検・調査 マンホール・蓋611箇所 13,288千円 一部（国）



管更生工事 L=135m 布設替工事 L=121m 43,913千円 (国)



①管路施設ストックマネジメント事業

第2期ストックマネジメント計画策定業務委託 15,334千円 (国)

下水道管路施設ストックマネジメント計画（第Ⅱ期）について

ストックマネジメント計画（管路施設）は、長期的視点で管路施設全体の今後の老朽化の進捗を予測し、リスク評価の高い箇所から点検・調査を行い、対策の緊急度が高いと評価された箇所から、計画的な改築や修繕を実施するとともに事業費の平準を図るものです。

平成30年度から令和2年度において策定した第Ⅰ期計画では、市内約683kmの下水道管路のうち、事故や機能不全が発生しやすい管路（発生確率）や社会的影響の大きい管路（被害規模）を数値的に評価し、重要管渠として約266kmを位置づけ、令和59年までの57年間に及ぶその長期的な改築シナリオを設定しました。

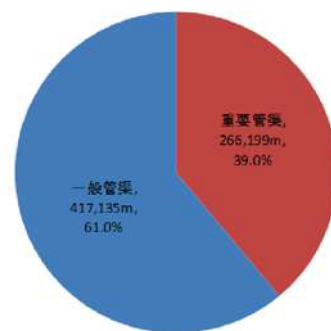
1. 重要管渠の設定

管渠の分類	延長	
	(m)	(%)
重要管渠	266,199m	39.0
一般管渠	417,135m	61.0
合計	683,334m	100

抽出

事後保全

管渠の分類(延長)

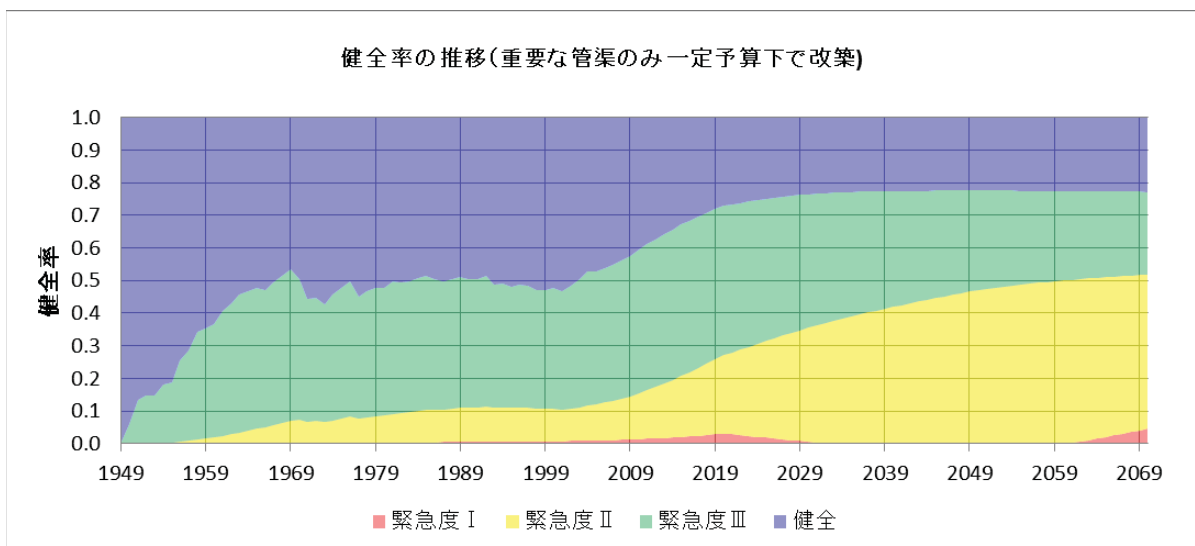


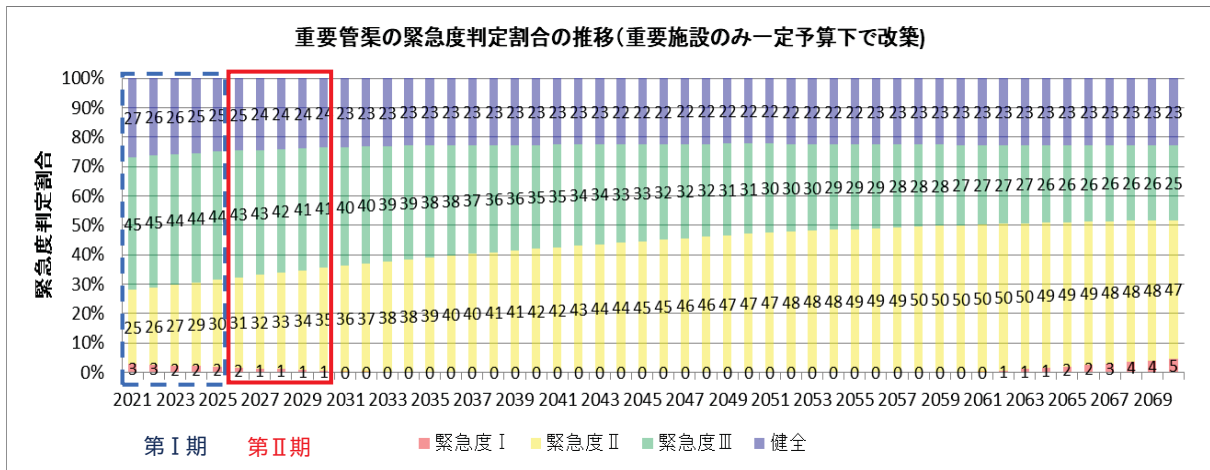
2. 緊急度・健全度の判定

点検・調査の診断結果による管渠の緊急度判定基準

緊急度ランク	区分	対応基準
緊急度Ⅰ	重度	速やかに措置の必要な場合
緊急度Ⅱ	中度	簡易な対応により必要な措置を5年未満まで延長できる場合
緊急度Ⅲ	軽度	簡易な対応により必要な措置を5年以上に延長できる場合
劣化なし	健全	措置を講じる必要がない場合

3. 改築シナリオの設定





4. 管路施設の長期的な改築費用の見通し

管渠改築について、R3～R7：2億円/年、R8～R12：2.5億円/年、R13～R17：3億円/年、R18～R32：3.5億円/年、R33～R52：4億円/年と段階的に投資額を設定することで、将来的にわたって重要施設の健全率を90%以上保つことができる。

	1～10年目	11～20年目	21～30年目	31～40年目	41～50年目	合計	全期間平均
管きよ(km)	15.4	22.3	24.0	27.4	27.4	116.5	2.3
マンホール蓋(個)	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	12,500.0	250.0

上表の管きよにはマンホールも含む

	1～10年目 (百万円)	11～20年目 (百万円)	21～30年目 (百万円)	31～40年目 (百万円)	41～50年目 (百万円)	合計 (百万円)	全期間平均 (百万円/年)
管きよ	2,250.0	3,250.0	3,500.0	4,000.0	4,000.0	17,000.0	340.0
マンホール蓋	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	5,000.0	100.0
合計	3,250.0	4,250.0	4,500.0	5,000.0	5,000.0	22,000.0	440.0

上表の管きよにはマンホールも含む

5. 飯田市下水道事業経営戦略（令和6年度改定版）

【管路施設】

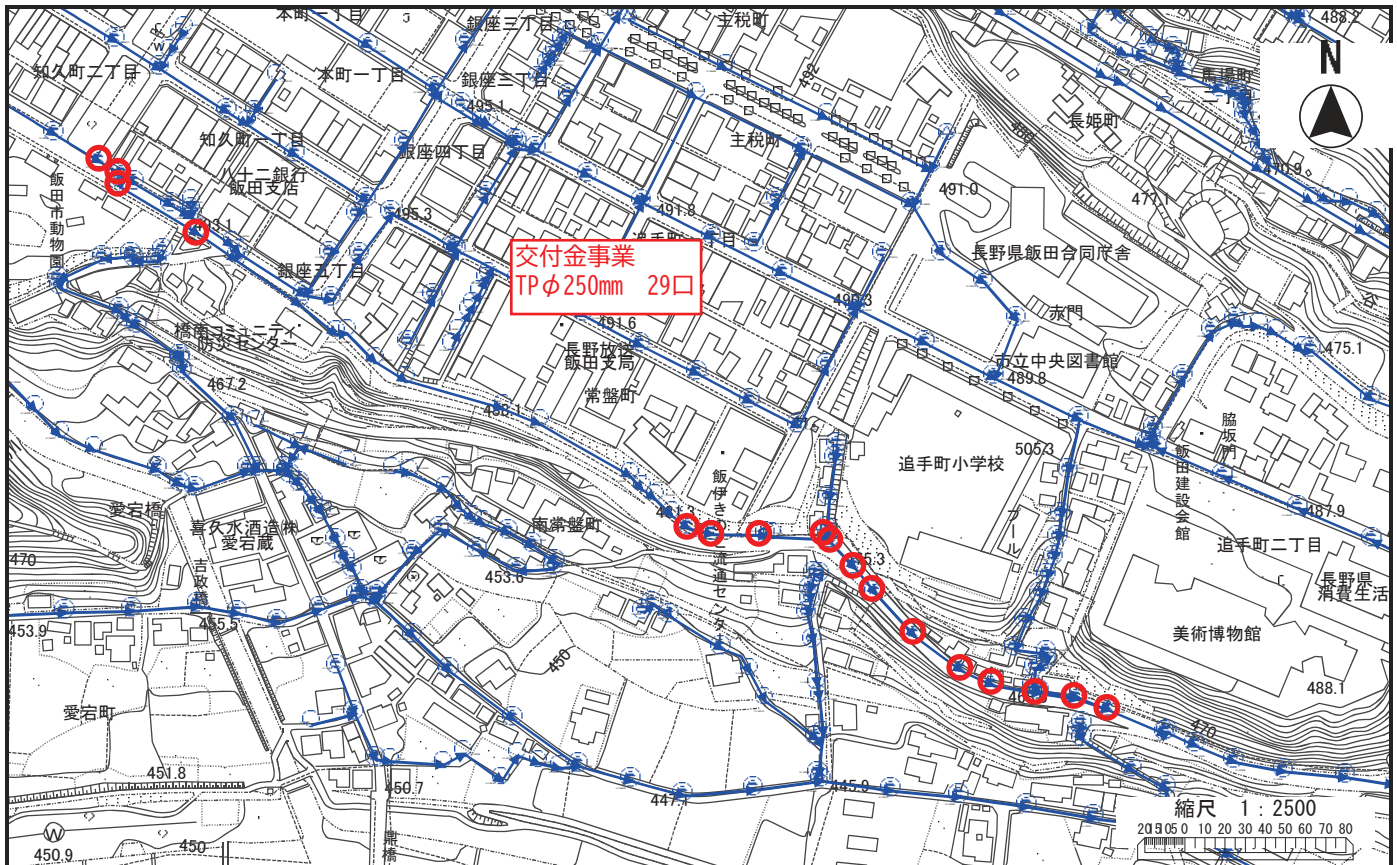
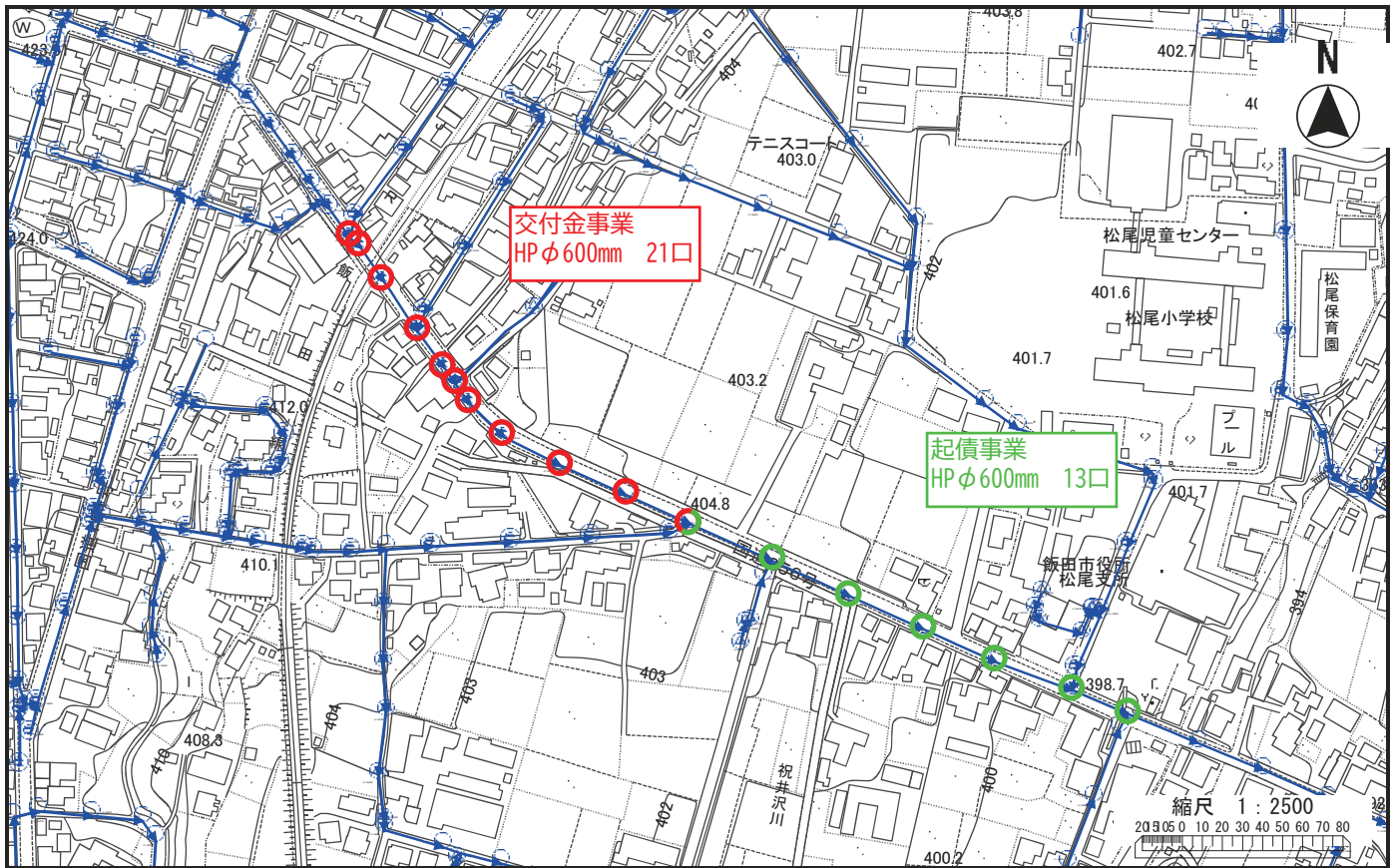
単位：百万円

事業内容	管渠長寿命化対策・改築（管更生）					
施工年度	第Ⅰ期				第Ⅱ期	第Ⅲ期
	R3	R4	R5	R6～7	R8～12	R13～14
R6 改定時事業費	152	77	64	153	651	173
R3 策定時事業費	117	116	134	320	1,250	640

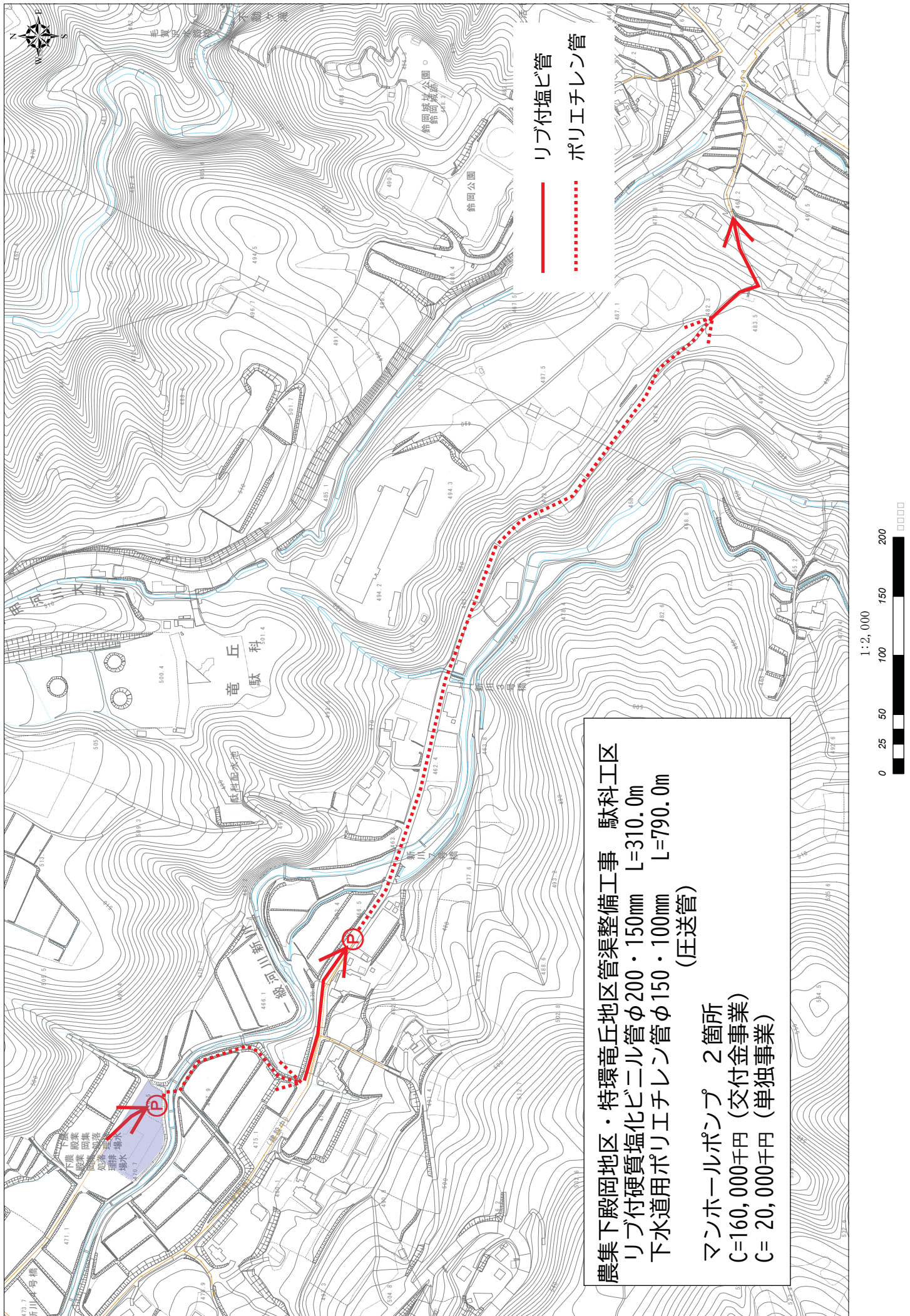
130.2 百万円/年

改築延長 約 7.0km / 5年 を見込む

②地震対策事業（管きょ）
人孔管口耐震化工事 63口 64,658千円 （国）



③処理区統廃合事業



整備計画名: 長野県生活排水処理構想(公共下水道)の推進(防災・安全)

事業内容: 下水処理施設の持続的な機能確保を図るためストックマネジメント計画に基づき設備更新工事を行う

工 期: R7年6月～R10年3月(全体設計)

事業費: R7年 79,200千円(国費: 43,340千円 低率: 2,200千円 高率: 41,140千円)

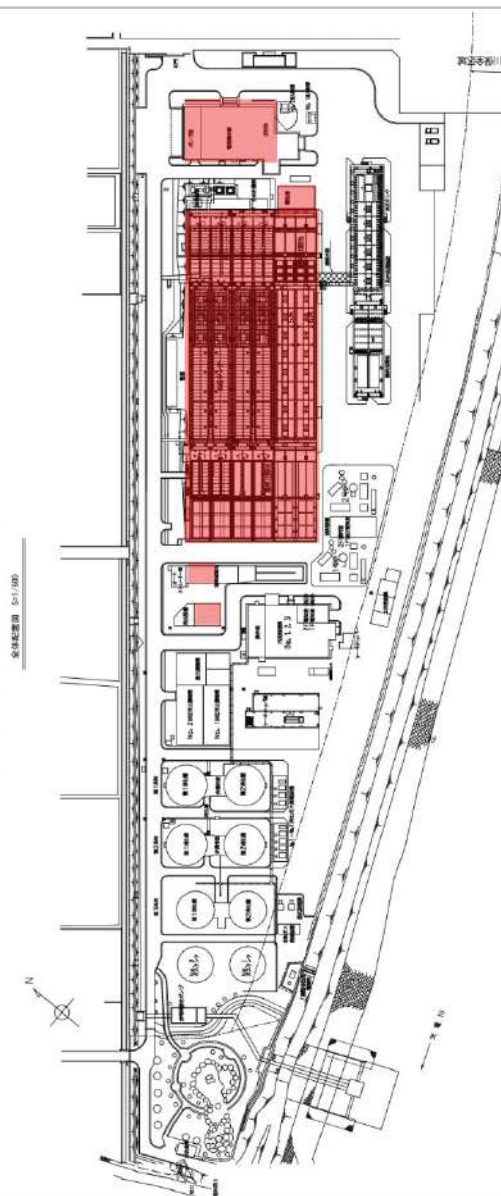
R8年 350,900千円(国費: 191,785千円 低率: 12,100千円 高率: 179,685千円)

R9年 234,300千円(国費: 128,040千円 低率: 8,250千円 高率: 119,790千円)

全体事業費: R3年～R7年 1,197,000千円(国費658,350千円)



飯田市松尾浄化センター管理センター平面図【防災・安全】



A07-099
松尾浄化センター電気設備改築更新工事(電気設備工事その15)
事業費: R7年 79,200千円(国費: 43,340千円 低率: 2,200千円 高率: 41,140千円)
R8年 350,900千円(国費: 191,785千円 低率: 12,100千円 高率: 179,685千円)
R9年 234,300千円(国費: 128,040千円 低率: 8,250千円 高率: 119,790千円)

監視制御設備



R7・8整備予定量

- ・水処理監視制御設備更新工事
- ・汚水ポンプVVFVVF更新工事一式

要素事業番号

A07-099

整備計画名：長野県生活排水処理構想（公共下水道）の推進（防災・安全）

事業内容：下水処理施設の持続的な機能確保を図るための第2期ストックマネジメント実施計画を行う

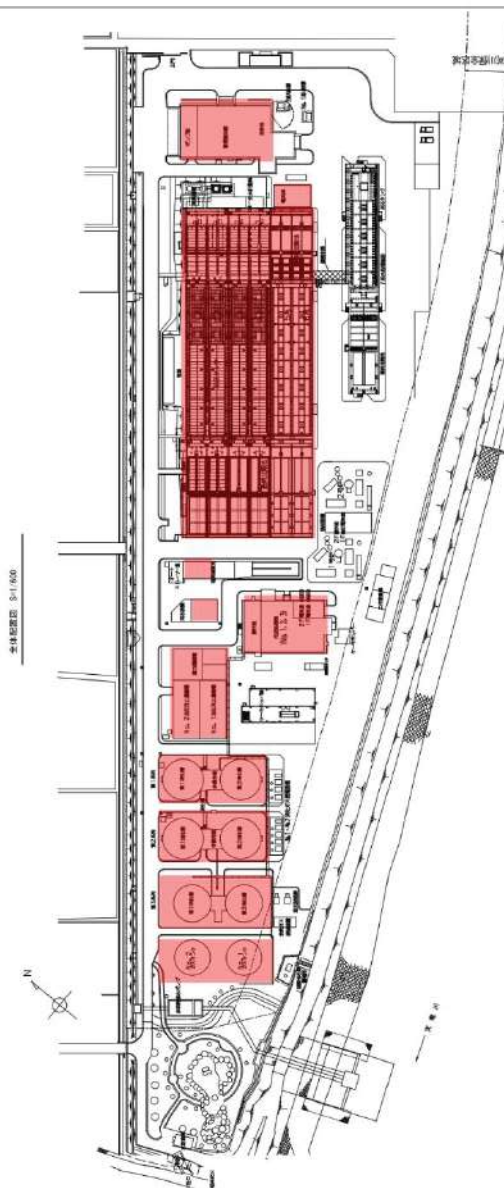
工期：R7年5月～R8年3月（単年度）

事業費：R7年 14,500千円（国費7,250千円）

全体事業費：R3年～R7年 1,197,000千円（国費658,350千円）



飯田市松尾浄化センター平面図



A07-099
松尾浄化センター第2期ストックマネジメント実施計画業務
事業費：R7年14,500千円（国費7,250千円）

R7整備予定量

第2期ストックマネジメント
実施計画業務 一式

要素事業番号
A07-099

下水処理施設ストックマネジメント計画（第Ⅱ期）について

1. スtockマネジメント第Ⅱ期実施内容について

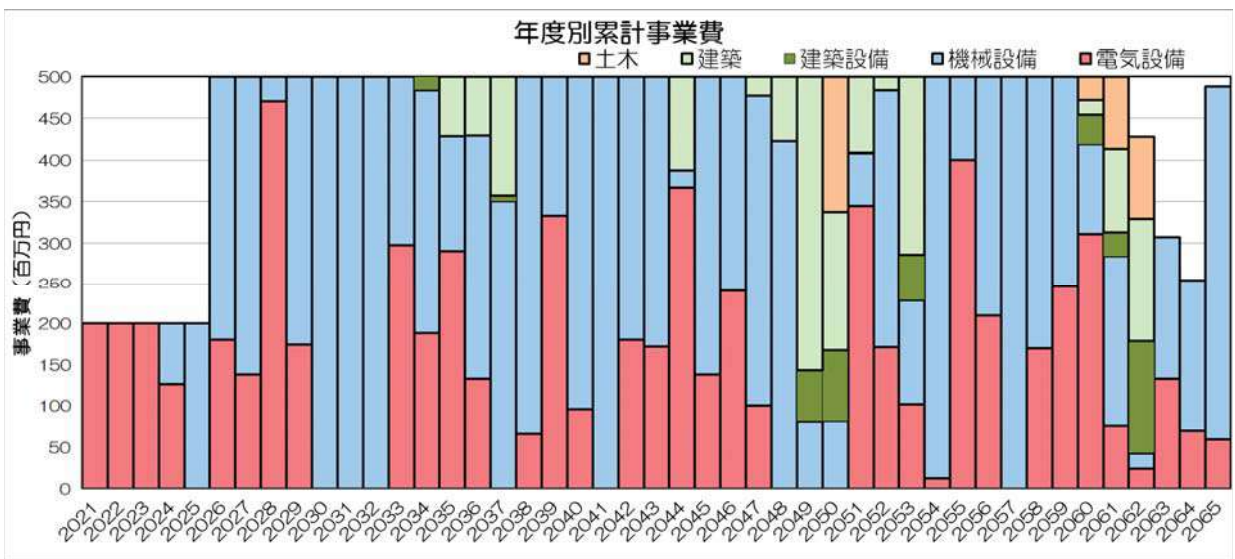
第Ⅰ期においては、松尾浄化管理センターの水処理及び汚泥処理に関する監視制御関連一式の更新を予定していたが、緊急対応が必要な事業(松尾浄化C非常用発電装置)を実施したため、第Ⅱ期に水処理監視制御更新およびリスク評価による更新計画の優先順位と実際の状況を鑑み第Ⅱ期実施内容を策定する。

2. リスク評価について(平成30年度実施)

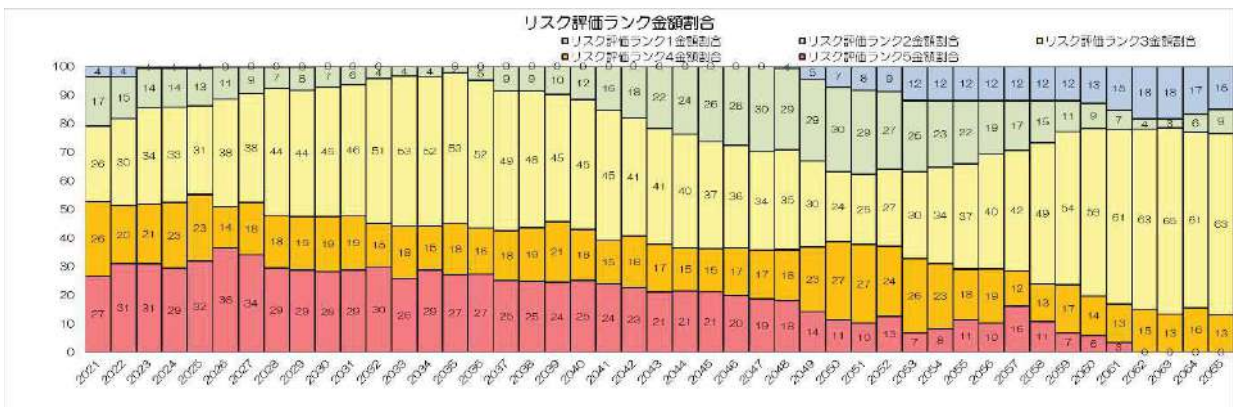
公共下水道施設に対して維持・修繕および改築を計画的に実施するため、設置年度、資産種別ごとの目標耐用年数による発生確率ランクおよび、施設規模による影響度のランクの掛け合わせによるリスク評価を中分類資産ごとに設定した。

施設名	リスク評価結果					
リスク評価	5	4	3	2	1	合計
松尾浄化管理センター	68	23	59	75	24	249
和田浄化センター	2	5	24	12	21	64
竜丘浄化センター	4	16	11	22		53
川路浄化センター	2	5	25	3	23	58
合計	76	49	119	112	68	424

リスク評価に従い、年度ごとの事業費を固定して、更新計画を策定した。



上記表に従い更新を進めた場合のリスク評価ごとの資産割合



令和7年度松尾浄化センター再構築計画策定

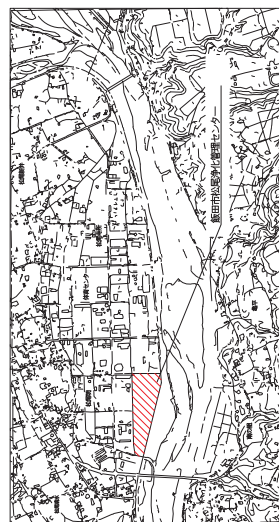
全体配置図 S=1/600



松尾浄化センターは1977年(S52)に供用を開始し、47年が経過しており、今後、土木・建築施設の老朽化に伴う不具合や腐食等の発生が想定される。令和5年度に実施した松尾浄化センターの水処理関連施設の耐震診断により、大きな割合で耐震性がないことが判明している。よって、耐震化を見据えた持続可能な処理施設にしていくなための再構築計画の策定業務を行い、今後の改築更新の基礎資料とする。

- ・委託業務費 31,625,000円
- ・委託業務内容

基礎調査、課題の整理、条件整理、段階的整備の検討、工事期間中の施工方法の検討、工程の整理、概算工事費の算出



案内図 S=1/15000